

特別企画：国内主要 112 行の預金・貸出金等実態調査

貸出金 11 兆 5371 億円増、98 行で増加 ～ 貸出金増加するも 98 行で「利ざや」が減少 ～

はじめに

将来に向けた人口動態や地方創生とともに各地域経済を支える金融機関の収益確保、統廃合の動向が注目され続けるなか、昨年は日銀のマイナス金利導入、今年は金融庁がはじめて地方銀行の運用部門への検査に乗り出すなど、新たな視点で金融機関の経営をチェックする動きが高まりつつある。

帝国データバンクは、国内主要 112 行（大手銀行 7 行、地方銀行 64 行、第二地方銀行 41 行）の 2017 年 3 月末および 2016 年 3 月末の預金、貸出金の残高および 2017 年 3 月期、2016 年 3 月期の預金利息（支出）、貸出金利息（収入）の推移について調査・分析した。

※ 大手銀行 7 行＝三菱東京 UFJ、みずほ、三井住友、りそな、埼玉りそな、新生、あおぞら

※ 各数値は各行の決算短信（単体ベース）に記載されている数値（単位：百万円）を採用

調査結果

- 2017 年 3 月末の国内主要 112 行の預金は 719 兆 1177 億 8800 万円となり、2016 年 3 月末比で 31 兆 5094 億 4900 万円増加（4.6%増）。大手銀行、地方銀行、第二地方銀行の 3 業態すべてで増加し、112 行中 94 行（構成比 83.9%）で増加した
- 112 行の貸出金は 505 兆 1669 億 8700 万円となり、2016 年 3 月末比で 11 兆 5371 億 2400 万円増加（2.3%増）。3 業態すべてで増加し、112 行中 98 行（構成比 87.5%）で増加した
- 112 行の収支＜貸出金利息（収入）－預金利息（支出）の差額＝本業利ざや＞は、5 兆 5801 億 5200 万円となり、2016 年 3 月期比で 1058 億 9200 万円減少（1.9%減）。3 業態すべてで減少し、112 行中 98 行（構成比 87.5%）で減少した
- 地方銀行、第二地方銀行の計 105 行を対象とした地域別動向では、預金、貸出金ともに 9 地域すべてで増加。預金は「北海道」、貸出金は「中国」の増加率が目立った

1. 預金動向 ～31 兆 5094 億円増、112 行中 94 行で増加～

2017 年 3 月末の国内主要 112 行の預金は、719 兆 1177 億 8800 万円となり、2016 年 3 月末比で 31 兆 5094 億 4900 万円増加（4.6%増）。大手銀行（6.4%増）、地方銀行（2.4%増）、第二地方銀行（2.4%増）の 3 業態すべてで増加し、大手銀行の増加率が目立った。

業態別に増減の内訳をみると、大手銀行（増加 6 行、減少 1 行）、地方銀行（増加 56 行、減少 8 行）、第二地方銀行（増加 32 行、減少 9 行）となり、112 行中 94 行（構成比 83.9%）で増加した。

また、112 行が 2017 年 3 月期（1 年間）に預金者へ支払った預金利息は、6648 億 6100 万円となり、2016 年 3 月期比で 888 億 9400 万円増加（15.4%増）。大手銀行（32.4%増）で増加した一方、地方銀行（22.3%減）、第二地方銀行（20.5%減）で減少した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行（増加 3 行、減少 4 行）、地方銀行（増加 3 行、減少 61 行）、第二地方銀行（増加 1 行、減少 40 行）となり、112 行中 105 行（構成比 93.8%）で減少した。

低金利の影響や支出抑制の取り組みが反映された結果、112 行中 94 行（構成比 83.9%）で預金が増加したにもかかわらず 105 行（93.8%）で預金利息が減少する結果となった。

預金増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	6	85.7%	1	14.3%	7	100.0%
地方銀行	56	87.5%	8	12.5%	64	100.0%
第二地方銀行	32	78.0%	9	22.0%	41	100.0%
合 計	94	83.9%	18	16.1%	112	100.0%

預金利息増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	3	42.9%	4	57.1%	7	100.0%
地方銀行	3	4.7%	61	95.3%	64	100.0%
第二地方銀行	1	2.4%	40	97.6%	41	100.0%
合 計	7	6.3%	105	93.8%	112	100.0%

2. 貸出金動向 ～11 兆 5371 億円増、112 行中 98 行で増加～

2017 年 3 月末の 112 行の貸出金は、505 兆 1669 億 8700 万円となり、2016 年 3 月末比で 11 兆 5371 億 2400 万円増加（2.3%増）。大手銀行（1.0%増）、地方銀行（3.9%増）、第二地方銀行（3.2%増）の 3 業態すべてで増加した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行（増加 6 行、減少 1 行）、地方銀行（増加 59 行、減少 5 行）、第二地方銀行（増加 33 行、減少 8 行）となり、112 行中 98 行（構成比 87.5%）で増加した。

また、112 行が 2017 年 3 月期（1 年間）に融資先から受け取った貸出金利息は、6 兆 2450 億 1300 万円となり、2016 年 3 月期比で 169 億 9800 万円減少（0.3%減）。大手銀行（3.6%増）で増加した一方、地方銀行（4.1%減）、第二地方銀行（5.0%減）で減少した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行（増加 4 行、減少 3 行）、地方銀行（増加 4 行、減少 60 行）、第二地方銀行（増加 2 行、減少 39 行）となり、112 行中 102 行（構成比 91.1%）で減少となった。

低金利の影響などから、112 行中 98 行（構成比 87.5%）で貸出金が増加したにもかかわらず 102 行（同 91.1%）で貸出金利息が減少する結果となった。貸出金利息が減少した行数比率は、大手銀行（同 42.9%）と比較して、地方銀行（93.8%）、第二地方銀行（95.1%）で非常に高く、貸出による収益性の悪化が顕著となっている。

貸出金増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	6	85.7%	1	14.3%	7	100.0%
地方銀行	59	92.2%	5	7.8%	64	100.0%
第二地方銀行	33	80.5%	8	19.5%	41	100.0%
合 計	98	87.5%	14	12.5%	112	100.0%

貸出金利息増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	4	57.1%	3	42.9%	7	100.0%
地方銀行	4	6.3%	60	93.8%	64	100.0%
第二地方銀行	2	4.9%	39	95.1%	41	100.0%
合 計	10	8.9%	102	91.1%	112	100.0%

～預金・貸出金の増加率鈍化が顕著に～

2014 年 3 月末から 2017 年 3 月末までの 112 行の預金、貸出金の増減率推移（前年比）をみると、預金は 4% 台での増加が続いているが、貸出金は 2016 年 3 月末、2017 年 3 月末と 2% 台へ大きくダウン。低金利の影響を受けるほか、融資先の発掘・選定など経営環境が悪化していることが分かる。

	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末
預 金	628,794,355	658,232,488	678,608,339	719,117,788
前年比増減	4.2%	4.7%	4.5%	4.6%
貸出金	459,777,675	481,053,753	493,629,863	505,166,987
前年比増減	4.3%	4.6%	2.6%	2.3%

単位: 百万円

3. 利ざや動向 ～112 行中 98 行で減少～

2017 年 3 月期の 112 行の収支＜貸出金利息（収入）－預金利息（支出）の差額＝本業利ざや＞は、5 兆 5801 億 5200 万円となり、2016 年 3 月期比で 1058 億 9200 万円減少（1.9%減）。大手銀行（0.5%減）、地方銀行（3.0%減）、第二地方銀行（3.9%減）の 3 業態すべてで減少した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行（増加 3 行、減少 4 行）、地方銀行（増加 6 行、減少 58 行）、第二地方銀行（増加 5 行、減少 36 行）となり、112 行中 98 行（構成比 87.5%）で減少した。

利ざや増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	3	42.9%	4	57.1%	7	100.0%
地方銀行	6	9.4%	58	90.6%	64	100.0%
第二地方銀行	5	12.2%	36	87.8%	41	100.0%
合 計	14	12.5%	98	87.5%	112	100.0%

		2016年3月末	2017年3月末	2016年3月末比 増減額・増減比(%)	
主要112行	預 金	687,608,339	719,117,788	31,509,449	4.6
	預金利息	575,967	664,861	88,894	15.4
	貸出金	493,629,863	505,166,987	11,537,124	2.3
	貸出金利息	6,262,011	6,245,013	▲ 16,998	▲ 0.3
	貸出金利息－預金利息	5,686,044	5,580,152	▲ 105,892	▲ 1.9
	預 金	374,470,223	398,386,017	23,915,794	6.4
	預金利息	395,555	523,782	128,227	32.4
	貸出金	258,617,791	261,257,291	2,639,500	1.0
	貸出金利息	3,178,669	3,293,873	115,204	3.6
	貸出金利息－預金利息	2,783,114	2,770,091	▲ 13,023	▲ 0.5
	預 金	248,909,433	254,944,105	6,034,672	2.4
	預金利息	131,703	102,336	▲ 29,367	▲ 22.3
	貸出金	185,799,156	193,109,073	7,309,917	3.9
	貸出金利息	2,358,069	2,262,004	▲ 96,065	▲ 4.1
	貸出金利息－預金利息	2,226,366	2,159,668	▲ 66,698	▲ 3.0
	預 金	64,228,683	65,787,666	1,558,983	2.4
	預金利息	48,709	38,743	▲ 9,966	▲ 20.5
	貸出金	49,212,916	50,800,623	1,587,707	3.2
	貸出金利息	725,273	689,136	▲ 36,137	▲ 5.0
	貸出金利息－預金利息	676,564	650,393	▲ 26,171	▲ 3.9

単位:百万円

4. 地域別動向 ～預金は「北海道」、貸出金は「中国」の増加率目立つ～

地方銀行、第二地方銀行の計 105 行について、本店所在地（都道府県別）の地域別（9 地域）にみると、2017 年 3 月末の預金、貸出金は、2016 年 3 月末比で 9 地域すべてで増加。一方、2017 年 3 月期の預金利息、貸出金利息は、2016 年 3 月期比で 9 地域すべてで減少した。

預金の増加率が高かったのは「北海道」（4.3%増）や「九州」（3.8%増）。貸出金の増加率が高かったのは「中国」（6.6%増）や「九州」（5.1%増）となった。

		2016年3月末	2017年3月末	2016年3月末比 増減額・増減比(%)	
地銀 第二地銀 (105行)	預金	313,138,116	320,731,771	7,593,655	2.4
	預金利息	180,412	141,079	▲ 39,333	▲ 21.8
	貸出金	235,012,072	243,909,696	8,897,624	3.8
	貸出金利息	3,083,342	2,951,140	▲ 132,202	▲ 4.3
	貸出金利息－預金利息	2,902,930	2,810,061	▲ 92,869	▲ 3.2
	北海道 (2行)				
	預金	12,056,057	12,573,809	517,752	4.3
	預金利息	2,908	1,142	▲ 1,766	▲ 60.7
	貸出金	9,013,984	9,429,624	415,640	4.6
	貸出金利息	113,094	107,854	▲ 5,240	▲ 4.6
	貸出金利息－預金利息	110,186	106,712	▲ 3,474	▲ 3.2
	東北 (15行)				
	預金	32,315,740	32,652,328	336,588	1.0
	預金利息	17,000	11,262	▲ 5,738	▲ 33.8
	貸出金	21,141,038	21,758,265	617,227	2.9
	貸出金利息	255,496	242,059	▲ 13,437	▲ 5.3
	貸出金利息－預金利息	238,496	230,797	▲ 7,699	▲ 3.2
	関東 (16行)				
	預金	69,214,884	70,891,827	1,676,943	2.4
	預金利息	33,094	25,325	▲ 7,769	▲ 23.5
	貸出金	54,218,566	55,899,046	1,680,480	3.1
	貸出金利息	702,085	669,083	▲ 33,002	▲ 4.7
	貸出金利息－預金利息	668,991	643,758	▲ 25,233	▲ 3.8
	北陸 (9行)				
	預金	20,957,222	21,550,330	593,108	2.8
	預金利息	8,141	5,685	▲ 2,456	▲ 30.2
	貸出金	15,172,708	15,504,057	331,349	2.2
	貸出金利息	184,824	172,464	▲ 12,360	▲ 6.7
	貸出金利息－預金利息	176,683	166,779	▲ 9,904	▲ 5.6
	中部 (16行)				
	預金	54,484,061	55,932,168	1,448,107	2.7
	預金利息	37,349	30,862	▲ 6,487	▲ 17.4
	貸出金	40,704,392	42,195,639	1,491,247	3.7
	貸出金利息	556,624	541,017	▲ 15,607	▲ 2.8
	貸出金利息－預金利息	519,275	510,155	▲ 9,120	▲ 1.8
	近畿 (9行)				
	預金	31,224,817	31,863,327	638,510	2.0
	預金利息	22,946	17,364	▲ 5,582	▲ 24.3
	貸出金	24,098,487	24,844,419	745,932	3.1
	貸出金利息	312,199	289,333	▲ 22,866	▲ 7.3
	貸出金利息－預金利息	289,253	271,969	▲ 17,284	▲ 6.0
	中国 (9行)				
	預金	28,032,145	28,425,026	392,881	1.4
	預金利息	20,737	19,288	▲ 1,449	▲ 7.0
	貸出金	20,260,246	21,594,984	1,334,738	6.6
	貸出金利息	252,165	245,137	▲ 7,028	▲ 2.8
	貸出金利息－預金利息	231,428	225,849	▲ 5,579	▲ 2.4
	四国 (8行)				
	預金	19,600,410	19,860,527	260,117	1.3
	預金利息	13,647	11,008	▲ 2,639	▲ 19.3
	貸出金	14,232,190	14,682,531	450,341	3.2
	貸出金利息	204,650	194,802	▲ 9,848	▲ 4.8
	貸出金利息－預金利息	191,003	183,794	▲ 7,209	▲ 3.8
	九州 (21行)				
	預金	45,252,780	46,982,429	1,729,649	3.8
	預金利息	24,590	19,143	▲ 5,447	▲ 22.2
	貸出金	36,170,461	38,001,131	1,830,670	5.1
	貸出金利息	502,205	489,391	▲ 12,814	▲ 2.6
	貸出金利息－預金利息	477,615	470,248	▲ 7,367	▲ 1.5

単位: 百万円

まとめ マイナス金利の影響に加え、資金運用動向にも注意

2017 年 3 月末の預金が 2016 年 3 月末比で増加したのは 112 行中 94 行（構成比 83.9%）であったのに対し、2017 年 3 月期の預金利息（支出）が 2016 年 3 月期比で増加したのはわずか 7 行（同 6.3%）。また、2017 年 3 月末の貸出金が 2016 年 3 月末比で増加したのは 112 行中 98 行（構成比 87.5%）であったのに対し、2017 年 3 月期の貸出金利息（収入）が 2016 年 3 月期比で増加したのはわずか 10 行（同 8.9%）となった。

預金、貸出金が増加し続けるなか、各金融機関は預金利息を抑制する取り組みを進めてはいるものの、超低金利の影響もあって、貸出金増加に比例した貸出金利息を確保することができず、本業での収益は悪化。結果として 112 行中 98 行（構成比 87.5%）で利ざやが減少した。

こうした状況のなか、収益確保のため各金融機関は資金運用を外国債などのハイリスク・ハイリターン商品へシフトする動きが顕著となっているが、その運用益（含み益）が昨年 11 月の米大統領選を境に急上昇した米国の長期金利の影響などから大きく減少する銀行が出はじめ、金融庁は地方銀行の運用部門に焦点を当てた検査にはじめて乗り出す動きを見せている。

これまで注目されてきた“少子高齢化とそれに伴う人口動態”や“中小企業金融円滑化法の実質延長措置による貸出金滞留の長期化”、“マイナス金利の影響”などに加え、“資金運用”という新たな観点から金融機関の経営動向を注視する必要がある。

【 内容に関する問い合わせ先 】

（株）帝国データバンク 東京支社 情報部 阿部・綴木

TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。